

令和元年度第1回岡山県自立支援協議会医療的ケア児等支援部会議事概要（要旨）

- 1 日 時 令和元年7月17日（水）
- 2 場 所 ホテルメルパルク岡山3階「芙蓉」
- 3 時 間 10:00～12:10
- 4 参加者 出席者名簿のとおり
- 5 会長等選任（次のとおり決定）
 - ・会長：国富委員、副会長：津島委員
- 6 事務局からの連絡事項
資料のとおり
- 7 協議・報告（担当課の各委員等から説明実施）
 - （1）第5期岡山県障害福祉計画・第1期岡山県障害児福祉計画の概要及び医療的ケア等とその家族の安心生活サポート事業等の実施状況について（障害福祉課）「別紙1・2」

（委員からの意見・要望等）

 - ・特記事項なし
 - （2）小児等在宅医療連携拠点事業等について（医療推進課）「別紙3」

（委員からの意見・要望等）

 - ・今後、サービスの実施主体の市町村と、どのように連携していくのかが今後の課題だと考える。
 - （3）岡山県立特別支援学校における人工呼吸器使用児童生徒の通学受入れに関するガイドライン等について（特別支援教育課）「別紙4」

（委員からの意見・要望等）

 - ・（訪問看護において、）制度上、居宅は「生活の場」とされ、学校は居宅扱いにならない。制度が今後どうなっていくか分からないが、医療的ケア児の就学支援を行う上での課題である。
 - ・親としては、まず教育の保障をお願いする。結局、予算と人材の問題が解決できないので進まない。是非、先進的な県の情報を仕入れ、徐々に進めていっていただきたい。
 - ・市町村の協議の場、これを早い段階で設置をしていく必要がある。特に、相談支援専門員は個々にニーズをたくさん聞いており、これを問題提起し、話し合う場が市町村単位でないと難しい。
 - （4）岡山県自立支援協議会医療的ケア児等支援部会の今後の進め方について（障害福祉課）「別紙5」

（委員からの意見・要望等）

 - ・市町村の協議の場の設置を促進願いたい。
 - ・今後、当事者の教育・社会参加、家族の生活などに関し、児・者ともに一生を通じて支えていただけるような議論を進めていただくとありがたい。
 - ・子どもが主役である。本日の議論を踏まえ、事務局には計画への反映等をお願いする。